

令和7年度第3回千葉県図書館協議会議事録（要録）

1 日 時 令和8年2月18日（水）午後2時から午後4時10分まで

2 場 所 ホテルプラザ菜の花 4階会議室「楨」

3 出席者 委 員 伊 藤 明 美○ 伊 藤 安 代
植 村 八 潮 大 石 由 香
鈴 木 宏 子◎ 根 本 彰
箱 守 貴 子 間 部 豊

◎は議長、○は副議長

中央図書館長 赤 沼 知 里

西部図書館長 忍 足 哲 也

東部図書館長 押 澤 裕 子

他7名

生涯学習課

新県立図書館建設準備室主査 廣 瀬 恭 子

4 議 事

(1) 千葉県立図書館行動計画（令和6年度～8年度）の進捗状況について（報告）

(2) 千葉県立読書バリアフリー推進計画（令和5年度～9年度）の進捗状況について（報告）

(3) 令和8年度千葉県立図書館当初予算案について（報告）

(4) 令和8年度千葉県立図書館事業計画について（協議）

(5) その他

5 その他

<会議録>

- 議 長 本日の会議は、議事が4件ございます。
初めに報告事項として、議事（1）「千葉県立図書館行動計画（令和6年度～8年度）の進捗状況について」、事務局から説明願います。
- 事 務 局 <議事の説明>
- 議 長 御意見・御質問がありましたらお願いいたします。
- 委 員 資料1の2ページに「中学生による職場提案のモデル事業を行った。」とありますが「中学生による職場提案」とは何でしょうか。
- 事 務 局 中学生が1日県立図書館について講義や見学を通じて学び、読書について中学生の視点から県立中央図書館へ提案したいことをまとめて、館長及び職員に提案を行いました。
- 委 員 とても興味深いです。差し支えなければ提案内容を教えていただけますか。
- 事 務 局 県立千葉中学校とのモデル事業でしたが、テーマは「千葉中学校と県立図書館との連携について」「ヤングアダルトサービスを推進するには」の2つでした。
- 委 員 分かりました。
- 委 員 千葉県内の全市町村図書館に対して運営相談を実施されているとありますが、電話やメールは受動的なものだと思いますが、訪問は本当に全市町村にしているのでしょうか。各自治体図書館の困りごとなど最近の傾向を差し支えない範囲で教えていただけますか。
- 事 務 局 電話やメールによる相談と、実地での訪問運営相談があります。訪問は全市町村に年1回以上実施しています。
内容としては、他館の状況を教えてほしいとか、長期延滞者への督促方法についての相談がよくあり、また特徴的なものと、来館した子どもへの接し方、寄贈資料の受け入れ、読書バリアフリー計画策定についての相談がありました。

委員	延滞への対応などは基本的な業務と思いますが、異動などが原因で市町村には蓄積がないのでしょうか。
事務局	運営相談で把握した範囲で申し上げますと蓄積がないというよりは、利用者の意識変化が大きいことによるものと思います。かつては協力車を職員が運転して毎週訪問していましたので、せめて年に1回はという気持ちはあります。
委員	図書館だけではありませんが、カスタマーハラスメントが多くなっているのが図書館間で共有したほうが良いでしょう。 市町村での読書バリアフリー計画の策定が進んでいないようですが、県立図書館3館が担当する各地域の運営相談の中で策定促進をされているのでしょうか。
事務局	同じく運営相談で把握した範囲で申し上げますと「読書バリアフリー」という用語は話題に上るようになっていますが、マンパワー不足で進まないようです。市町村図書館職員が読書バリアフリーの取組として個人宅を訪問することについて、当人が近隣に知られたくないという事例などもあるようです。
事務局	市町村立図書館への読書バリアフリー計画策定普及については、図書館だけでは進めることができず、本庁各課と連携をとりながら進めなければいけないので策定が進まないと認識しております。
委員	先ほどの、利用者の意識が変わってきているという話を聞きながら思ったことですが、生成AIの活用も浸透してきた今、情報リテラシー（根拠を示した資料提供）こそが図書館の存在意義だと改めて強く思います。 資料1にある目標値に比較した実績値について、閲覧数やダウンロード数が伸び悩んでいますが、パスファインダー（調べ案内）などを図書館が作成している意義について広報し、利用を促進していく必要があるのではないのでしょうか。 新館ができるタイミングでもあり、図書館に注目が集まります。図書館にできることを考えていっていただきたい。
事務局	これまで以上に注力してまいります。
委員	生成AIを経由してパスファインダーやデータベースが使われたものは、解析すれば実績として統計がとれるのではないかと思いました。

また、資料1の5ページ掲載の「国立国会図書館千葉県関係のレファレンス協同データベース登録件数」が、令和7年度は12月末現在6件と少ないですが選んで登録しているのでしょうか。

事務局 年度末に登録が集中しており、年度末までにはもう少し増やせる見込みです。令和6年度の22件も多くはありませんが、お見込みのとおり、質を重視して登録する事例を厳選しております。

委員 資料1の6ページにある「遠隔対面朗読」は「実績件数なし」とありますが、利用者の要望が少ないのでしょうか。遠隔（Zoomなどのオンライン）が苦手な高齢者が主な対象になるためでしょうか。

事務局 Zoomなどのオンライン遠隔操作への苦手意識も働いているものと思います。

委員 資料1の6ページに記載のある、市町村立図書館等へ貸し出す「読書バリアフリー資料紹介セット」とはどのようなものなのでしょうか。

事務局 展示等で活用できるような、市町村立図書館や特別支援学校等に対して一定期間貸し出しを行い、関係機関職員の理解促進及び県民への周知を図るものです。内容は「点字付きさわる絵本」、「大活字本」などのバリアフリー資料、及び「リーディングルーペ」、「iPad等の機器」、「展示用レール」、「説明パンフレット」等の展示用品となっております。

委員 「点字作成キット」は入っていないのでしょうか。他の団体では貸出セットに入れている団体があつてとても人気があります。

事務局 「点字作成キット」は現在整備中で、今後セット化を検討してまいります。

委員 資料1の1ページに「子ども読書活動の推進」について、「子どもの読書活動推進センターページアクセス数」で目標の達成状況を評価できるのでしょうか。理解できなくはないですが、目標に対して迂遠な指標と思われま。令和8年度の計画期間終了で見直してはいかがでしょうか。

事務局	今回の指標はアウトカムを意識した総称としてアクセス数を指標としましたが、次期には再考いたします。
委員	資料1の5ページに「千葉県資料（購入を除く）の受入数」が昨年度に比べだいぶ減っておりますが、購入を除くというのは「寄贈」を意味するものと思いますが、昨年度の寄贈数が多かったことによるものでしょうか。
事務局	昨年度はまとまった数の寄贈の申し出がありましたが、今年度はそのようなものがなかったため実績が減っております。
委員	千葉県資料について、ポーンデジタル資料が増えてきたと思いますが、受け入れはどのように考えていますか。
事務局	デジタルの資料をデジタルのまま受け入れることはせず、紙の資料にして受け入れています。 将来的にはデジタルのまま収集していきたいと考え、他県に聞き取り調査を行うなどして研究しているところです。すぐには実施できませんが、千葉県に関係する資料のデータベースである「菜の花ライブラリー」にポーンデジタルの資料を入れていくようなイメージを持っております。
委員	国会図書館等の実施状況を把握した上で、千葉県として取り組んでいくのもいいと思いますし、例としてデジタルの資料を自動収集する仕組みなど、様々な検討が可能と思います。 ICT（情報通信技術）によるデジタル化が進む中で、図書館がやるべきことについて備えておくことが必要でしょう。千葉県の資料については千葉県立図書館がリーダーシップをとって行っていただきたい。
委員	資料1の6ページに、開催したオンライン講座の講座名が記載されていますが、資料としては参加者数も掲載してほしい。 また、外国語絵本の利用数なども資料として知りたいところです。 図書館として何ができるのかというのは、図書館からの発信だけでは難しいので、当事者や利用者の数を把握して、講座の受講者など当事者と繋がりを沢山持つようにし、新館に向けたサポーター増や、当事者から話意見を直接聞きながら戦略を立てていくのがよいと思います。

議長 他にご意見はよろしいでしょうか。
他にはないようですので、次の議事に移ります。

議長 続きまして、議事（２）「千葉県読書バリアフリー推進計画（令和５年度～９年度）の進捗状況について」、事務局からご説明をお願いします。

事務局 <事務局説明>

議長 ただいまのご説明にご質問、ご意見等ありますでしょうか。

委員 市町村で読書バリアフリー推進計画の策定が進まない理由をどう分析されていますか。障害者サービスが始められない理由や、計画が策定できない理由について把握されていたら教えてください。

生涯学習課 市町村へ理由の調査をしておりませんので推測になりますが、
まず１点目として、読書バリアフリーに係る障害者サービスが始められない要因としては、予算や職員配置が小規模であったりすることにより、一般のサービスとは異なる知識、機材、資料等のハードルがあることではないかと考えております。実施しているという回答をしていますが、利用者からの要望がなく利用実績はないという市町村もあるようです。
２点目として、計画が立てられないことについても全市町村に理由を調査しておらず、国の調査は中核市までのため推測になりますが、福祉部門との連携が難しいことが理由としてあるのではないかと考えております。

委員 長寿化が進んでいますので、高齢者は増加しますし、高齢になることで視覚障害も増えていきます。図書館へ来館する方は紙の本が好きなので電子書籍には関心がないとよく言われますが、高齢になって図書館へ来られなくなった場合でも障害者サービスが利用できるということ、図書館がそういう場所だと通っているうちに気付いてもらえるよう周知して行ってほしいです。
また、資料２の２ページに掲載の「国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス」についても、活用している市町村数が（令和７年度で５４市町村のうち１７団体と）伸びないのも、ニーズがないというより利用者へ周知されていないもの

と思います。サービスについて図書館職員一人一人が知識を持ち、周知してニーズを掘り起こす必要があると思います。市町村の読書バリアフリー推進の意識が高まるよう御尽力いただきたい。

委員 市立図書館で障害者サービス立ち上げに関わっておりました。
その際、障害者関係は福祉の分野だから図書館業務ではないという意見もありましたが、これは図書館業務ではないという考えではなく、例えば「返却本を郵便局まで持って行ってほしい。」「蕎麦屋の品書きを読んでほしい。」「家電の取扱説明書を読んでほしい。」という御要望にも対応して推進しました。
図書館がなぜこれをやらなければならないのかというのではなく、柔軟に対応する姿勢に図書館職員の意識を変えていくことが重要かと思います。意識が変わることでボランティアの方と繋がりが生まれたり、全部がいっぺんにできなくても少しずつ取り組んでいくことで次第に輪が大きくなっていきますので、ぜひとも職員研修等で啓発に努めていただきたいと思います。

議長 他にご意見はよろしいでしょうか。
他にはないようですので、次の議事に移ります。

議長 続きまして、議事（３）及び議事（４）については、関連しますので一括で進めたいと思います。
議事（３）「令和８年度千葉県立図書館当初予算案について」、議事（４）「令和８年度千葉県立図書館事業計画について」、事務局からご説明をお願いします。

事務局 <事務局説明>

議長 ただいまのご説明にご質問、ご意見等ありますでしょうか。

委員 資料３の令和８年度予算の表に、資料の収集費が前年度比１０１％とあります。
物価高騰で本の価格も２割ほど上がっていると思いますが、資料の収集が量的にも質的にも下がっていくようなことがないか心配です。
これから県立図書館３館が１館に集約されていくにあたって、重複書籍の扱いはどうされるお考えでしょうか。個人的には重複書籍は必要なら買えばよいと考えておりますがいかがでしょうか。

また、重複書籍の方針とは別問題として、新しい図書館における蔵書の収集方針はあるのでしょうか。新館に向けた蔵書の予算要求が資料3では見えないので伺いたい。

事務局 重複書籍については、令和元年度から重複しないよう3館で除籍作業を進めております。また、物価高騰については、購入冊数が減ってしまう状況にはございます。

新館での蔵書方針については、現在のところ現行の収集方針を改める検討はしておらず、新館に収まる蔵書数となるような体制づくりを進めている段階でございます。

委員 重複しないようにしているということは、どれも1冊のみになってしまうのでしょうか。少数発行の郷土資料は複数収集した方がよいのではないのでしょうか。

事務局 地域資料や児童資料の複本収集については続けており、それ以外の重複書籍を減らしております。

委員 資料4の「第5 県民が利用しやすいサービス」の一つとして記載されている、「オンライン手続きの充実」とは具体的にどんなことをお考えなのでしょうか。

事務局 「希望資料申込書（購入又は県内外の他館から資料の取り寄せを申し込む書類）」のオンライン化を考えております。現在は来館、電話、ファクシミリまたは文書により受け付けておりますが、オンラインで行えるようにする予定です。

委員 利用者登録についてはオンライン化されているのでしょうか。

事務局 昨年度の令和6年5月から実施しております。

委員 「千葉県に関する資料」の蓄積・継承は、県立図書館の大切な使命と思いますが可視化されておらず、図書館職員の皆さんは様々な作業をされていると思いますが、県民にはその作業過程がよく見えないと思います。

例えば、博物館の展示には、土器の発掘・研究過程が可視化されている事例があります。図書館職員のバックヤード作業が県民や利用者に見える動画を、新県立図書館が開館するまでの間に作成していただけたらよいなと思います。

事務局 図書館職員の裏方の作業が可視化できないかのご意見ありがとうございます。

委員 資料4の「第3 課題解決支援図書館」の取組として、「新館における主題別係編成による効果的なサービス提供と事業展開の研究」とありますが、「主題別係編成による」はどこにかかっているのでしょうか。また、具体的にどのようなのでしょうか。

事務局 「効果的なサービス提供」と「事業展開の研究」の両方にかかります。
現在は3館で資料収集の主題を分担しておりますが、事業展開においても連動して有機的になるまでに至っておりませんので、そこを進めていこうという計画です。

委員 同じく「第3 課題解決支援図書館」の取組として、「課題解決支援サービスの提供（パスファインダーの作成・提供）」が挙げられていますが、議題（1）の中で、他の委員から「パスファインダー（調べ案内）などを図書館が作成している意義について広報し、利用を促進していく必要がある。」とのご意見がありましたので、「パスファインダーの作成・提供」のみでなく計画の中に具体的な記載がほしいと思いましたので、「新館における主題別係編成による効果的なサービス提供と事業展開の研究」とは「パスファインダーの作成・提供」にも関係するものかと思ってお尋ねした次第です。

事務局 承知いたしました。

委員 他の委員から図書館のバックヤード業務の可視化についてご意見がありました
が、パスファインダーについても専門家に評価してもらうなどして作成プロセスを可視化していくのがよいと思います。
選書についても、司書の専門性が非常に重要なものとしてあるので、そういった図書館職員のノウハウをみえるようにしてアピールする必要があるのではないかと思いますし、そういった力のある図書館が出来るとよいなと思いますので、ご検討いただけたらと思います。

議長 他にご意見等ございますでしょうか。

委員	<p>学校等での児童・生徒たちの学びにおいて、子どもたち自身が課題をつくって解決していくようなスタイルに変わってきています。</p> <p>調べ方がわからない子どもに、パスファインダー（調べ方案内）のようなものがあるとよいと思いますので、学校などの教育機関との連携を強化していったほうがいいです。</p>
議長	<p>他にご意見はよろしいでしょうか。</p> <p>他にはないようですので、次の議事に移ります。</p>
議長	<p>続きまして、議事（５）その他事項として委員から質問はございますか。</p>
委員	<p>新館計画の進捗状況はいかがでしょうか。</p>
生涯学習課	<p>実施設計が公表されており、スケジュールどおり令和11年度の開館に向けて進んでおります。</p>
委員	<p>展示方式は、例えば石川県立図書館のような特徴的なものを考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>大規模な展示棚は計画しておらず、NDC（日本十進分類法）を基本に、部分的に特集棚を設けるように考えております。</p>
委員	<p>新館は駅やバス停留所から離れたところにありますので、障害のある方も利用しやすいよう、交通不便への対策検討を要望します。県の計画とは思いますが、図書館側からも強く要望していただきたい。</p>
委員	<p>千葉県立図書館行動計画について、令和6～8年度が公表されていますが、令和9年度以降はいつ計画を立てる予定でしょうか。</p>
事務局	<p>次期計画は令和8年度に立てる予定ですが、新館開館のタイミングにより、期間を今までどおり3か年計画とするのか2か年にするのか等も含めて協議させていただきたいと考えております。</p>

議 長 | ありがとうございます。
他に御意見等ないようでしたら、本日用意されている議事は終了となります。
円滑な議事進行に御協力いただきありがとうございました。